勉強に〝適齢期〟はない 何歳になっても「夢」へ挑戦

3面から続く

――3人のお子さんも、スタンフォード大学を卒業しています。アグネスさんは子育てについての書籍も多数執筆されていますが、家庭教育で大切なことは何だと思いますか。

大切なことは、山ほどあって（笑）。本を書いても書いても、まだ書き足りないくらいです。

私は、家庭教育が教育の基本だと考えています。〝学校に通い始めたら安心〟ではなくて、学校に入ったからこそ、家庭での子どもとの関わりが大切だと思うんです。

互いに心を通じ合い、親が子どもから、信頼できる最高のパートナーだと思ってもらえることが重要です。それに、子どもの「自己肯定力」も大事です。「自己肯定力」を育てるには、絶対に子どもを人と比べないことです。たくさんの愛情をかけることで、強い心、やさしい心が育っていくんです。

子育てって、報われるものなんです。子どもが最初に笑ってくれた時、歩いてくれた時、どんなにうれしいか。子どもを愛しすぎて「バカ」になる――いい意味の「親バカ」くらいで、私はちょうどいいと思います。

スタンフォード大学への留学中、親子3人で憩いのひととき　©T&A

反対に「子どもが何かをよくできたら自分の成果」「失敗したら自分の失敗」――そう考えて、「完璧にやらないと」と思うと、息苦しくなります。だからユーモアを持って、子育てをエンジョイすることです。例えば、いたずらをしても〝こんな悪さをよく思いついたな。一体誰に似たんだろう？〟って（笑）。

子育てで得られる喜びは、人生において貴重なものです。そして子どもたちは、親から受けた愛情や温かな言葉に、ずっと支えられていくのだと思います。

「誰かのために」

――男性の育児参加が進んでいますが、父親の役割として重要なことは何でしょうか。

私の言うことは、ちょっとハードルが高いんですが、いいですか（笑）。

例えば、母親が突然、病気で倒れたとします。「それでも大丈夫！」という父親であってほしいと思います。〝子どもの下着がどこにあるのか。学校の行事はいつ、どこであるのか、全部分かっている。母親と同じことが100％できる〟――そういう父親であれば、母親も安心です。子どもの心にも余裕が生まれてきます。

創価大学通信教育部の夏期スクーリング。さまざまな世代の学生が参加する（2019年8月、東京・八王子市で）

父親も、100％やるつもりで育児に取り組んだほうが、大きな満足感を味わえます。本当に、毎日がキラキラ輝きますよ！

――今、世界の各地で紛争が続いています。平和を築くために教育が果たす役割について、考えを教えてください。

教育を通して世界平和を実現するということは、私たち皆の夢ですが、残念ながら現実には、高学歴なのに好戦的だったり、自分のことしか考えられなかったりする人たちもいます。

私は平和を築く上で大切なことの一つは、「見て見ぬふりをしないこと」だと思っています。一番大事なのは、事実を「知る」こと。そして、知ったら、「自分は何ができるのか」を考えてみること。何もできなくても、思いを寄せることはできます。

それぞれの立場や力は違うから、自分ができる最大の努力をすればいいと思います。例えば主婦だったら、子どもに平和の大切さを教えることができる。独身の男性や女性なら、友達や同僚に話すことができる。インターネットで文章を発信する方法もありますよね。

正直なところ、私も自分の無力さを感じることがあります。ユニセフの活動を終えて帰ってくると、現実の壁の厚さに落ち込んだりして……。でも落ち込んでも何も始まらない。〝こんな弱い自分でも、誰かのために何かできる〟と気持ちを切り替えた瞬間、また力が湧いてくるんです。

――アグネスさんは、長年にわたって池田先生と交流を重ねてこられました。

私は、池田先生と2回しかお会いしていません。でも心の中で、今もずっと会っているように感じています。先生は私たちの中で生きているんです。

最愛の3人の息子たちと共に　©T&A

だから、悲しむのはいいけれど、落ち込んではいけない。私たちは、先生と同じ時代を生きることができたのだから、それを大切にしてほしいと思います。

池田先生が贈ってくださった詩（アグネスさん作曲の「そこには幸せが　もう生まれているから」の歌詞）には、「大空よりも大きなものがある／それは　それは／私の生命」とあります。一番大切なメッセージだと思います。本当に、これより励まされる言葉ってないですよね。

こう見えても私も結構、年なんです（笑）。でも声の続く限り、これからも平和のために歌い続けていきたい――そう思っています。

ユニセフの活動にも尽力してきたアグネスさん。大型サイクロンの被害を受け、フィジーの小学校に設置された仮設教室の前で（2016年3月）　©T&A

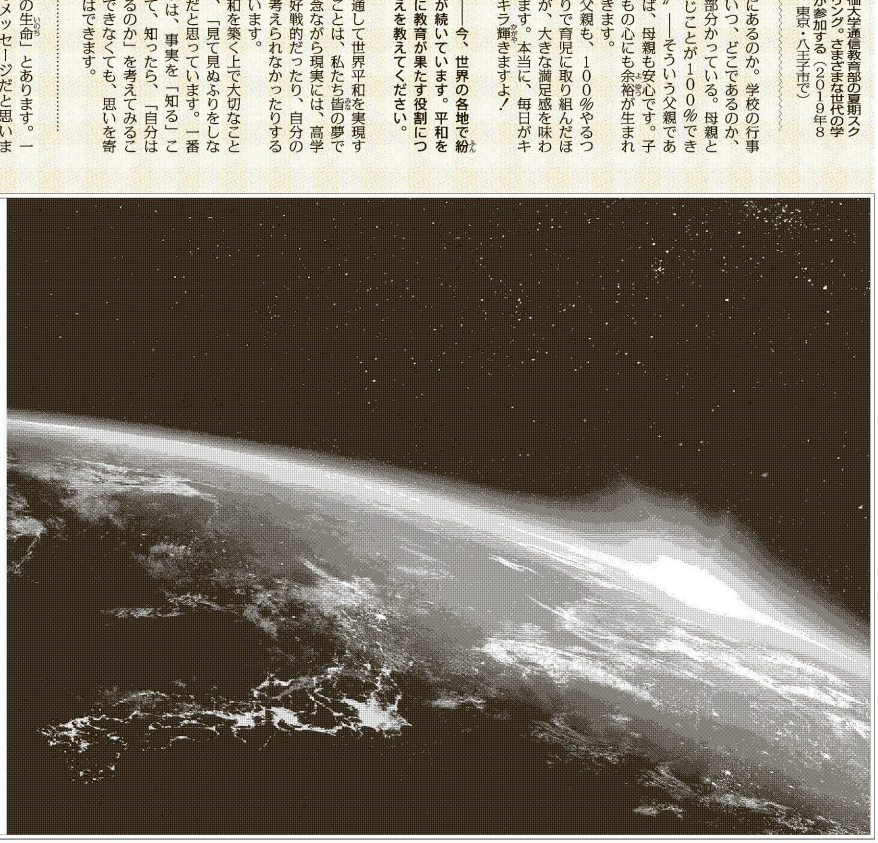
SDGs×SEIKYO

ご感想をお寄せください
sdgs@seikyo-np.jp

右＝聖教電子版の「SDGs」特集ページが閲覧できます。
左＝海外識者の記事の英語版を読むことができます。

地球が輝き続ける、
まちづくりを。

私たちは「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」
という経営理念のもと、手掛ける建築・インフラの
ひとつひとつを丹精込めてつくってきました。
これからも豊かで安心・安全な「まちづくり」を通して、
サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

株式会社 竹中工務店　https://www.takenaka.co.jp/
本　社：〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13　Tel:06-6252-1201
東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1　Tel:03-6810-5000